

2022年6月14日

各位

会 社 名 オージックグループ株式会社  
 (コード番号 6168 TOKYO PRO Market)  
 代 表 者 名 代表取締役社長 田中 文彦  
 問 い 合 わ せ 先 取締役 経営企画室長 金田 善雄  
 電 話 番 号 072-965-1011  
 U R L <http://www.ogicgroup.co.jp/>

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日の2022年6月期中間決算短信にて開示した2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年7月1日～2022年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期純利 益
前回発表予想(A)	百万円 4,619	百万円 155	百万円 160	百万円 168	円 銭 129.37
今回修正予想(B)	4,745	109	135	144	111.32
増減額(B-A)	126	△46	△25	△24	
増減率(%)	2.7	△29.9	△15.7	△14.0	
(参考)前期連結実績 (2021年6月期)	3,596	△329	△259	319	245.46

#### 2. 修正の理由

売上高は、自動車業界における生産調整の影響はあるものの、工作機械受注やセンサー関係並びに印刷機械部品の旺盛な需要により、前回発表予想を上回るものと見通しております。販売費一般管理費もコスト削減に努めてまいりましたが、一社グループ企業が増加することに伴う手数料部分が費用となるため、営業利益は、前回発表予想を下回る109百万円となる見通しであります。経常利益も、前回発表予想を下回るものの、設備の稼働が上昇したことからスクラップ売却代金や企業立地助成金もあり、それらが下支えしており

ます。親会社株式に帰属する当期純利益については、ボールスクリー事業の減損損失の計上はあるものの、有価証券の売却益等でカバーし、144百万円の見通しであります。

(参考) 業績等の予想に関する注意事項

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

以 上